

「多様な背景を持った学生の受入れについて」

○入試制度による受入れ

◆総合型選抜（ダイバーシティ枠）

本学では、居住地域、国籍等の要因により進学機会の確保に困難があり、高等教育へのアクセスを妨げるハンディキャップがあると認められる多様な背景を持った学生の受入れに配慮した選抜を実施いたします。

◆当該選抜の目的

大学への進学・通学が困難な離島等の特定地域（の高校）の出身者、外国にルーツを持つ生徒の選抜を行うことでキャンパス内の多様性を確保し、難しい立場にある者に配慮するだけに留まらず、思考や議論に多様性をもたらし、価値観や経験を学生間で共有し相互理解を深めさせることで新たな視点を創出し、教育環境の質を向上させ、体育・スポーツおよび健康分野において専門的な知見・技能を有して社会で貢献できる人材を養成することを目的とします。

◆評価する能力

提出書類（調査書、志望理由書、活動報告書等）、個人面接（オンライン）、口頭試問（オンライン）により、アドミッションポリシーに基づき「基礎的な知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って学ぶ態度（主体性・協働性・多様性理解）」に加え、体育・スポーツおよび健康分野に対する「意欲・情熱」と「創意工夫力・忍耐力・継続力・努力」そして「スポーツ活動や社会貢献活動に意欲的に取り組む意志」について、バランス良く多角的な視点から総合的に評価します。

◆期待する成果・効果

キャンパスにおける多様性の確保は、困難な事情・背景を持った者に配慮するだけに留まらず、「学びの場」における思考や議論に多様性をもたらし、教育環境の質の向上が期待できるため、すべての学生にとって大きな意義があります。将来、建学の精神および基本理念を思想基盤を持った学生が、体育・スポーツおよび健康分野において専門的な知見・技能を身につけ、社会で活躍できる「体育・スポーツ系人材」として成長し輩出することで、広く社会に貢献できるものと期待しています。

◆実施する合理的な理由

大学入学者選抜の基本方針である受験機会や入試方法における公平性・公正性の確保を踏まえ、公正かつ妥当な方法での入学者選抜を実施するとともに、居住地域、国籍等に配慮した受験機会の確保や合理的配慮の充実など「実質的な公平性」を追求し、多様性を生かすキャンパスを実現することが重要であると考えています。また、建学の精神「実学と創意工夫」を基盤に「スポーツ・フォア・オール」を基本理念として、学生一人一人の無限の可能性を導き出す真の人間形成を促す教育を展開し、多様な人材が集い協働することで新しい価値が創造される「学びの場」にしたいと考えています。本入学者選抜は、こうした基本的な考え方を踏まえ実施するものです。